

曾野木地区市営住宅跡地等の活用について

曾野木地域実行計画(※)に基づき、江南区曾野木地区の市営住宅建替え跡地に、新たにコミュニティセンター等を整備するもの。整備にあたっては、ファシリティマネジメントの視点を重視するとともに、民間活力を最大限導入し、財政負担の軽減を図る。

【曾野木地区市営住宅跡地】 江南区曾野木1丁目22番 4,255.58 m²

(※)曾野木地域実行計画とは…

地域の公共施設の今後の方向性について、平成28年度より地域住民とともに検討し、平成29年12月に策定した計画。西蒲区潟東地区、北区葛塚地区に続き、本市で3番目の事例。

1. 整備の手法

- コミュニティセンターを民間事業者により新たに整備後、市で購入又は賃借する。
- 併せて、余剰地を貸付又は売却し、老朽化した曾野木保育園・第二曾野木保育園を統合した保育施設を民間事業者が整備・運営する。
- 統合する既存保育園の統合後の跡地も貸付又は売却し、民間事業者が活用する。

⇒ **上記を一括して民間事業者が担う。(別紙「施設整備スケジュール(予定)」の赤枠内)**

2. 民間事業者による一括整備の効果

- コミュニティ施設、保育施設を一体的に整備するとともに、区バスを接続することで、**両施設の交流や利用者の動線に配慮した施設配置**が期待できる。
- コミュニティ施設以外の用地を有効活用(売却又は貸付)することで、**コミュニティ施設の建設費や、建設後の運営費に係る財政負担の軽減**が図られる。
- 設計・建設を一体で行うため、**整備コストの抑制**や**施設開設までのスケジュールの短縮**が期待できる。
- 既存保育園跡地も併せて民間事業者に活用いただくことで、**地域住民の利便性向上、さらなるコミュニティの活性化**が期待される。